

『学習指導要領』では、ポイントとして「語彙指導の改善・充実」と「情報の扱い方に関する指導の改善充実」が示されています。話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることは、正確に理解し適切に表現する力を育成することにつながります。

『伝え合う言葉 中学国語』では、育成したい「論理的思考」と、それを培うために身につけたい表現を小学校の学習から積み上げ、展開しています。

➡小中9年分の資料は、教育出版ホームページを参照してください。

論理的思考と身につけたい表現の学年展開：小学校			論理的思考と身につけたい表現の学年展開：中学校（『伝え合う言葉 中学国語』）								
論理的思考力 判断力 表現力	第 5 学年及び第 6 学年		第 1 学年			第 2 学年			第 3 学年		
	育成する思考力	身につけたい表現の例	育成する思考力	教材で身につけたい表現例	学習課題・学習活動	育成する思考力	教材で身につけたい表現例	学習課題・学習活動	育成する思考力	教材で身につけたい表現例	学習課題・学習活動
比較 分類 順序	共通点を見つける	……に注目すると、○○と××には……という共通点が見つかります	比較する 共通点を見つける 相違点を見つける	○○と××は、……という点で同じだ（共通点がある） ……を比べると、共通点は…… ○○と××では、……のような違い（相違点）がある ……には、……とされていた 例えば……では、……	書く『資料をもとに紹介文を書く』（P45） 話す聞く『発言を結びつけて話し合う』（P229）	比較する 共通点を見つける 相違点を見つける	……には、……という共通点（相違点）があります ……と比べると、……です	読む『読み比べ』（P56『水の山 富士山』） 読む『筆者との対話』（P226『学ぶ力』） 話す聞く『さまざまな考えを踏まえ討論をする』（P235）	比較する	……と比較して、	書く『説得力のある批評文を書く』（P105）
	相違点を見つける	……に注目すると、○○と××には……という相違点が見つかります									
	比較する	○○と××を比較すると、○○は××に比べ……です ○○が……なのに対し、××は……です									
	分類する	……に着目すれば、○と×、△と□に分けられます									
							計画する 順序づける	……を計画します ……の順序を考えると、……です	話す聞く『課題を設定して伝える』（P63）	組み立てる 順序づける	まず、……です いちばんは、……です まとめると、……です
						組み立てる 順序づける	一つめは……、二つめは……	話す聞く「課題を設定して伝える」(P63) 書く「確かな根拠をもとに意見文を書く」(P209)			
関係づけ	事例をあげる	例えば、……を例にとって…… 例をあげれば、具体的にいえば、	関係づける 観点を絞る 限定する	……を基準にすると、……のように整理できる	読む「反論」(P176『子どもの権利』)				関係づける 根拠をあげる	それに対して、	読む「主張のよりどころ」(P98『問いかける言葉』) 書く『説得力のある批評文を書く』(P105)
	理由をあげる	……からです なぜなら……からです その理由として……があげられます		○○に着眼すると……のように整理できる							
	条件づける 限定する	もし……ならば、仮に……だとすれば、……に限っていえば……以外に……ない		あるいは、あわせて、……という観点から考えると、……です ……に着目すると、……です							
	結論づける	あてはめてみると……ということがわかります／といえます ……のように要点をまとめることができます たしかに、なるほど、以上のことから、つまり	結論づける まとめる 総括する	……をまとめると、……になります ……ということから、……といえます	書く「根拠を明確にして意見文を書く」(P103) 読む「反論」(P176『子どもの権利』) 話す聞く「調べた内容を聞く」(P185)						
分析 考察	特徴を見つける	……から……のように整理できます 特に ……から……のようにまとめられます 加えて	課題を見つける 課題を提示する	……となっているのはなぜなのか (……の仕組みは) どのようにしているのか	読む「段落の役割」(P36『自分の脳を知っていますか』)	課題を設定する	……から、……ということがわかります ……について○○の観点から考えていく ……の大切さ(題をつける) ここでは、……について明らかにします	書く「新聞の投書を書く」(P39) 話す聞く「課題を設定して伝える」(P63)			
	予想する	……ならば○○も……といえます おそらく	予想する	……だとすれば、……のように考えられる これは……のように考えられるのではないか ……すると、……になります ……したら、……と考えられます	読む「問いと答え」(P90『森には魔法つかいがいる』) 話す聞く「調べた内容を聞く」(P185)						
	定義する	……という結論になります／結論は……ということですから、……であるといえます ……といえる／となったのは……だからです ……が起きたため……のようになりました ……となるのは、……のような場合です				推論する	……に賛成(反対)の立場ならば、……となる(はずだ) ……でも同じことがいえます そのことは、……にもあてはまりますか ……のように考えると、……といえる(はずだ) ……の観点到立てば、……と考えるはずだ	書く「構成を明確にして説明文を書く」(P117) 読む「推論」(P196『ガイアの知性』)	一般化する	どのような場合にも……となることから、……であるといえる このことから、……には、……という特徴がある これは……の場合にも成り立つ(あてはまる) 誰にでも(誰の場合でも)、……です	読む「主張のよりどころ」(P92『async——同期しないこと』) 書く「説得力のある批評文を書く」(P105) 話す聞く「意見を共有しながら話し合う」(P237)
評価	評価する	……のように考えると、正しいことがわかります ……から、そのように考えてよいことがわかります ……の点から、問題があるといえます	評価する	まずわかったことは……、次にわかったことは……、よって、そのように考えてよい	書く「報告文を整える」(P225)				検証する	……にあてはまらない場合はないかなぜ……といえるのか／……といえる証拠はあるかなぜ……かという、…… ……のように考える前提は何か	話す聞く「構成を工夫して主張をまとめる」(P59)

○参考 学習指導要領の指導事項の構成（語彙・情報の扱い方）

〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項 語彙	小学校		中学校	
	低学年 才	身近なことを表す語句	第1学年 ウ	事象や行為、心情を表す語句
	中学年 才	様子や行動、気持ちや性格を表す語句	第2学年 工	抽象的な概念を表す語句
	高学年 才	思考に関わる語句	第3学年 イ	理解したり表現したりするために必要な語句

〔知識及び技能〕 (2) 情報の扱い方に 関する事項	小学校			中学校		
		ア 情報と情報との関係	イ 情報の整理		ア 情報と情報との関係	イ 情報の整理
	低学年	共通、相違、事柄の順序など		第1学年	原因と結果、意見と根拠など	比較や分類、関係付けなど
	中学年	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など	比較や分類の仕方	第2学年	意見と根拠、具体と抽象など	情報と情報との関係の様々な表し方
	高学年	原因と結果など	情報と情報との関係付けの仕方	第3学年	具体と抽象など	情報の信頼性の確かめ方